

# あおぞら

第57号

# 2021

Happy New Year 丑



## 医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療  
【Humanism】
2. 高度医療の提供  
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての  
人間的成長 【High Growth】

## 目次

新年のご挨拶	2
下肢静脈瘤治療外来のお知らせ	3
病院紹介 ますだ内科・消化器内科クリニック	4～5
令和2年度院内発表会が開催されました	5
3年目に向けての抱負	6～7
ペット紹介	7
外来週間診療予定表	8

特定医療法人

# 新年のご挨拶

病院長  
岡田 和也



新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの猛威に全世界が翻弄され、予定されていた東京オリンピック・パラリンピックも延期となりました。1918年のスペイン風邪パンデミックから約百年の時を経て全地球規模のパンデミックを引き起こしたウイルスは世界の風景を一変させ、今も医療や経済、文化活動などあらゆる分野に多大なる打撃を与え続けています。しかしながら、これまで人類は未知なるウイルスと幾度も向きあい、その都度多くの叡智を集結し危機を乗り越えてきました。昨年末には新型コロナウイルスに対するワクチンが複数の企業において開発され、高い発症予防効果が示されました。これらのワクチンの安全性や効果持続期間などは慎重に見定めなければなりません。新型コロナウイルス克服に向けて期待が持てる結果となっています。

● 当院では新型コロナが流行し始めた昨年2月より、この新興感染症に対し呼吸器内科医を中心とした感染対策チームの指導や助言のもと、病院全体の危機管理対策として取り組んできました。職員にはマスク着用とアルコールによる手指消毒ならびに手洗いを徹底してもらい、発熱

や呼吸器症状などがあれば休職することとしました。また、密閉・密集・密接の「3つの密」を避け、病棟や外来、会議室、休憩室などの換気に努め、座席の間隔を空けるなど新しい職場環境を作るように努めてきました。しかしながら、海外では感染能力の高い変異ウイルスが検出されており、長崎県においても新型コロナウイルス感染は広がり続けていることから、引き続き厳重な感染対策を継続したいと考えております。

1979年に開院した当院は、呼吸器内科に加えて腎臓内科や消化器内科、糖尿病内科、循環器内科、外科、肛門外科、泌尿器科、心臓血管外科などを標榜しており、これまで腎センターや糖尿病センター、心臓血管センターを開設してきました。また、慢性腎疾患や禁煙、スキンケア（ストーマ）、リンパ浮腫、糖尿病、フットケア、おなかのヘルニアに対する専門外来を行っています。今後、地域医療構想が推進されていく中、感染対策チームを中心とした感染防止策を継続しながら、当院が培ってきた特徴的な医療で地域医療に少しでも貢献できるよう努力を重ねていく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく申し上げます。

# 下肢静脈瘤治療外来 のお知らせ



心臓血管外科部長  
古賀 清和 医師



心臓血管外科  
大崎 隼 医師

足が浮腫む(朝起きた時にはよくなっていることもある)、足の筋肉がつる、血管がぼこぼこ膨らんでいる。こういった症状の方はおられますか?もしかしたら、下肢静脈瘤かもしれません。

下肢静脈瘤は足の静脈の病気です。足の血管(静脈)が文字通りコブ(瘤)のように膨らんだ状態をいいます。

静脈瘤発症の原因は、足の静脈(大伏在静脈や小伏在静脈)の弁の機能不全による逆流です。長時間の立ち仕事に従事している方や、妊娠出産を契機に発症される方が多く見受けられます。血液の鬱滞による症状が出現し上記のような静脈瘤の形成、むくみ、こむら返り、痛み、かゆみ、ひどくなると色素沈着や皮膚潰瘍を呈してきます。

基本的に下肢静脈瘤は良性疾患で、急変や生命の危機に瀕する事態は起こらない病気ですが、先ほど挙げた症状や美容面などから、生活の質(QOL)が低下する病気です。

下肢静脈瘤に対する従来の治療法は、弾性ストッキング着用などの保存的加療や、静脈を切除や抜去する外科的加療(高位結紮術、ストリッピング手術)が主流でした。従来の外科的加療は、数日の入院を要する上に痛みや傷痕が残るなどのデメリットもありました。

そういった中、治療技術の進歩に伴い、従来の治療と遜色のない成績が期待でき疼痛などの合併症も少ない新しい低侵襲治療法(高周波血管内治療法)が開発されました。開発当初は、健康保険適用外(自由診療)で行われていましたが2014年に保険適用となり、患者様の治療にかかる自己負担額が少なくなりました。それに

伴い、現在の下肢静脈瘤治療において、同低侵襲治療が重要な治療法として確立しています。以前より近隣の開業医の先生方から、多数の静脈瘤患者様の問い合わせや御紹介をお受けする機会があり、それらのニーズに応えるべく、2015年11月より、当院では静脈瘤専門外来を設立し、従来の治療法に加え、高周波血管内治療を行っております。

患者様の受け入れに関しましては、毎週火曜日午後を静脈瘤診療専門日とし、奇数週(第1・3・5火曜日)を外來診療、偶数週(第2・4火曜日)を手術日としております。外來は診察や検査に時間を要するためなるべく患者様をお待たせしないように原則完全予約制としておりますので、地域医療連携室を通じて予約して頂きますようお願い申し上げます。

当院受診していただきますと問診を取り静脈瘤があるかどうか血管エコーを行います(30分から1時間ほど)。その後診察をさせていただき静脈瘤の診断、そして治療法をいくつか提示させていただき患者さんのニーズに合わせて治療法を選択していきます。

足の症状が少しでも軽くなるように一緒に治療をしていきたいと思っております。

## 診療時間

第1・3・5週 火曜日

午後 13:00～14:30

お問い合わせは地域医療連携室まで

月～金 8:30～17:00

土 8:30～12:00

TEL (095) 857-3533 (病院代表)

TEL (095) 857-3563 (地域医療連携室)

## ますだ内科・消化器内科クリニック

この度は 広報誌「あおぞら」に自己紹介の機会を頂きまして誠にありがとうございます。「ますだ内科・消化器内科クリニック」院長の増田淳一と申します。2020年10月2日に光晴会病院の対面、西友並びのブックオフとなり、道の尾クリニックビル2Fで新規開業させていただきました。

私はこの道ノ尾、岩屋町の出身で光晴会病院隣の百合幼稚園は母校になります。滑石小学校→青雲中学校&高校(道ノ尾バス停から通学)と、この道ノ尾の地で育ってきました。

子供のころは両親が共働きだったこともあり、小学校から帰ってきたらご近所の家で夕方まで遊んだり、近所の空き地(通称 原っぱ)で野球したり、お茶屋(地元の人には分かる駄菓子屋さん)に入り浸っていました。中学3年の時に父を肺がんで亡くしましたが、そ

の際は岩屋、葉山地区の皆様には本当にお世話になりました。その後母親一人に育ててもらいましたが、私にとってはこの地域の方々が父親代わりでした。

父親が亡くなった時に精神的な支えとなっていた青雲中学校の恩師W先生の自宅前が、開業の地となったことは、不思議なご縁を感じます。

さてその後 青雲高校から国立島根医科大学へ進学し、平成7年に長崎大学第二内科へ入局しました。その際研修医として初めての指導医が、光晴会病院 副院長の福田康弘先生だったのも不思議な縁を感じています。その後消化器内科医として、内科学、消化器病と肝臓病を中心に25年間、長崎大学と関連病院である成人病センター、虹が丘病院、重工記念長崎病院、井上病院(肝臓専門外来)などで勤務してきました。

長崎大学では「感染症制御学 文部科学教官」「光学診療部(内視鏡部)文部科学教官」などを経験し、肝炎、肝臓がんを中心とした最先端の医療を行ってきました。

最近では虹が丘病院在籍中に長崎県初の大腸カプセル内視鏡を導入し、九州一の検査数を行っていました。さらに今年8月まで所属した重工記念長崎病院では経鼻内視鏡の新しい挿入法を発案し、現在も長崎大学客員研究員として「経鼻内視鏡の新しい挿入法」を研究しています。



**ますだ内科**  
消化器内科クリニック

TEL 095-857-1010

ますだ内科



HP



診療時間 月 火 水 木 金 土 日

09:00-12:30	●	●	●	●	●	●	/
14:00-15:00	★	★	/	★	★	/	/
15:00-18:30	●	●	/	●	●	/	/

● … 一般診療、内視鏡検査(胃カメラ)  
★ … 内視鏡検査(胃カメラ・大腸カメラ)  
休診日 … 水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

# 紹介

これまで肝臓病や内視鏡など多岐にわたる診療を行ってきましたが、一貫しているテーマは「楽な検査」「楽な治療」です。これは開業してからも変わらない私の医療のテーマです。

今回、私事ですが51歳(父が亡くなった年齢)を機に地域の皆様方に恩返しをする時が来たと思い開業を決意しました。父が亡くなる間際、最後に入った風呂の中で「人の役に立つ仕事をしろ」といった遺言を私は片時も忘れたことはありません。「地域の皆様の役に立つ仕事」を、これから追求していく所存です。

光晴会病院様には、すでに検査や治療など本当にお世話になっております。これからもCT検査や内視鏡治療、外科的治療などをお願いすることになると思いますが宜しくお願い致します。当方も貴院にて治療終了した患者様のフォローなど、貴院外来業務のスリ

ム化にご協力できれば幸いです。

新規開業でいろいろと至らないこともあると存じますが、今後ともよろしく申し上げます。



令和  
2年度

## 後期院内発表会が開催されました。

令和2年12月3日(木)に会場入場の際のマスク着用・アルコールによる手指消毒の徹底と3密を避けるための入場制限など十分な感染対策を行い開催されました。

3つの部署がそれぞれに工夫を凝らしたすばらしい発表を行いました。

各部署、大変な準備があったと思いますがお疲れ様でした。



### 発表紹介

- 地域医療連携室  
地域医療連携室の紹介～当院におけるあじさいネットの現状について～
- 臨床工学科  
TE-352Q使用時のメーカー別シリンジ流量誤差について
- 透析室  
透析患者転倒予防～高齢者サルコペニア患者の転倒予防に対する指導を行って～



# 3年目に向けての抱負

2019年に新人看護師として16名が入社しました。2020年2年目の節目として、ケーススタディを通して多くのことを学びました。ケーススタディを終え、各部署の代表者に3年目に向けての抱負を述べてもらいました。

## 外科病棟所属

3年目からはリーダー業務も始まり、処置の介助についたり全体の状況を把握した上で行動する事が多くなってきます。1、2年目で得た知識や技術を活かしながら、更に患者さんに安全・安楽な看護が提供できるように頑張りたいです。また、日ごろから看護師間でコミュニケーションを図り、周囲の行動や患者さんの情報共有を把握できるように関わりを行っていきたいです。

## 心臓血管外科、循環器内科病棟所属

プリセプターや先輩方の指導を受けながら、日々の業務だけでなく循環器ならではの専門知識や患者との関わりを学び、あっという間に2年目になったような気がします。2年目になると後輩ができたことで周りに甘えるだけではいけないという事を意識するようになりました。その中で、自己で勉強していく大切さや日々の勉強や学びが患者の安全・安楽にもつながるという事を改めて考える事ができたと思います。これからは、ケーススタディを通してそれぞれが学んだことを今後の患者との関わりに活かしていき、同期と声を掛け合いながら頑張っていきたいです。

## 内科、地域包括ケア病棟所属

3年目に向けて患者さんに安全で個別性のある看護を行うことが出来るように1、2年目で学んだ知識・技術を活かして頑張っていきたいです。

また、ケースカンファレンスを通して学んだ多職種で患者さんに関わっていくという事を意識して、カンファレンスなどにも積極的に参加し患者さんが退院後も患者さんらしく生活できるように看護をしていきたいです。また、時間の使い方にも余裕がでてきたため、患者さんと沢山コミュニケーションをとり、必要な看護を自発的にチームに発信し行っていきたいです。

## 泌尿器科、内科病棟所属

2年目に行うケーススタディも終わって来年度から3年目になります。2年間を通して様々な患者との関わりや看護を経験、学ぶ事ができました。今後、急変時対応やリーダー業務など経験出来る事が増えていくため、1日1日を大切に学んでいきたいです。

## 透析室所属

今まではチーム内でメンバーシップを発揮していましたが、これからはリーダーシップを発揮できるように責任ある行動をとれるようになりたいです。2年目のケーススタディで学んだ個別性の看護や多職種連携、患者・家族に合わせた支援を出来るように看護を実践していき、専門領域における知識を深め、対応者の優先度に応じた看護を行っていきたいと思います。そして、新人看護師に対して基本的な看護技術の指導や風通しの良い職場の環境づくりを行っていきたいです。

## 中材・手術室所属

入職してOP室と言う特殊な部署への配属となり不安な気持ちでいっぱいでしたが、先輩方からの指導やサポートのおかげで少しずつ成長する事ができています。まだまだ分からない事や出来ない事も多く未熟ですが、3年目もステップアップできるように日々の予習・復習を行いながら頑張っていきたいと思います。また、OP室看護師として患者さんが安心して手術に臨めるようにその人の思いを大切にし、相手の気持ちになって考えながら、より良い看護を行っていきたいです。

# ペット紹介

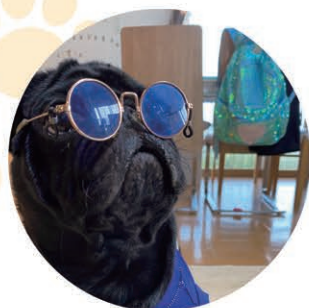
●名前 ●種類 ●性別 ●アピールポイント

新型コロナウイルス感染症を取り巻く厳しい状況下で心ふさぐ日々が続いている方も少なくないかと思えます。

そんななか、職員を励まし・癒してくれる愛犬たちを紹介させていただきます。

読者の皆様の一時の心の癒しになりますように。

- <sup>ふく</sup>福くん
- パグ
- 男の子
- おめめぱっちり  
あまえん坊の  
ふくちゃんです♡



- <sup>かん</sup>款くん
- Mix マルプー
- 男
- 真白い毛から  
見えるかわいい  
目!!



- レオくん
- チワワ (チョコタン)
- 男の子
- 癒されて胸キュン  
です。  
でも超いたずらっ子  
でシュンです。



- mayちゃん  
(メイ5月生まれ)
- ミニチュア  
ダックスフント
- 女の子
- くいしんぼう  
なのでポッチャリ  
体型で一す



# 外来週間診療予定表

令和3年1月

	月	火	水	木	金	土
内科	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	みやぞえ ゆり 宮副 由梨 (消化器)	よしおか まさと 吉岡 正人 (一般)	みやぞえ ゆり 宮副 由梨 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	
	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎・一般)	ひらい たつひろ 平井 達大 (腎・一般)	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	おおつぼ としお 大坪 俊夫 (腎・膠原)	しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)	
	しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ながよし ようすけ 永吉 洋介 (呼吸器)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ながよし ようすけ 永吉 洋介 (呼吸器)	
	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	あかほし ひろし 赤星 浩 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	あかほし ひろし 赤星 浩 (消化器)	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)
			しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)			
循環器内科	こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦		こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦	
心臓血管外科	ふるたち あきら 古舘 晃	こが きよかず 古賀 清和		ふるたち あきら 古舘 晃	こが きよかず 古賀 清和	
泌尿器科	やました しゅうじ 山下 修史	やまさき やすと 山崎 安人	やましたしゅうじ 山下修史	大学医	やまさき やすと 山崎 安人	
外科	おかた かずや 岡田 和也	おかた かずや 岡田 和也	大学医	すすむ せいや 進 誠也	すすむ せいや 進 誠也	
	きしかわ ひろき 岸川 博紀	みよし たかゆき 三好 敬之	きしかわ ひろき 岸川 博紀	きしかわ ひろき 岸川 博紀	たなか しろろう 田中 史朗	
			たなか しろろう 田中 史朗	やまくち いずみ 山口 泉	よしもと ひろし 吉本 浩 (形成外科)	
【午後】 14:00 ～ 16:00		おおつぼ としお 大坪 俊夫 (腎臓病疾患専門)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓病疾患専門)	よしおか まさと 吉岡 正人 (一般)		
				(非常勤) しみず としまさ 清水 俊匡 (リウマチ専門)		
【午後】 13:00 ～ 15:00		第1・3・5週 こが きよかず 古賀 清和 (下肢静脈瘤専門)				
		ふるたち あきら 古舘 晃 (大動脈専門)				
糖尿病センター 9:00 ～ 12:00	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	
	(非常勤) なつた しょうこ 夏田 昌子	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳 フットケア	せら やすのり 世羅 康徳	

※ 診療科目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前8：30より 午前11：30まで ※ 予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：金子(顧問) 佐々田(南4階) 川口(南5階)

尾上(医事課) 平尾(クラーク課)

岩永(地域医療連携室) 吉野(臨床検査科)

特定医療法人 光晴会病院

〒852-8053 長崎市葉山1丁目3番12号

TEL095-857-3533 FAX095-857-2572

http://www.kouseikai.org/